

地球環境問題と地域環境問題

▶ 地域環境問題(公害問題)

大気汚染

工場、自動車、航空機などから発生する物質(ばい煙、粉じん、自動車排ガス、有害な大気汚物質)による汚染。最近ではアスベスト(石綿)問題も深刻化しています。



水質汚濁

水を汚すものには工場排水のほかに店舗、学校、家庭からの排水があります。国内の湖沼の汚れは生活排水の影響が大きくなっています。



土壤汚染

鉱山、精錬所の重金属の汚染⇒化学工場の水銀、カドミウム、六価クロムの汚染⇒IC基盤等の洗浄によるVOC(揮発性有機化合物)汚染と問題が変化しています。回復には莫大な費用がかかるので予防することが重要です。



地域環境問題

地球環境問題

局地的

加害者・被害者
が明確

法規制が有効

排出者の出口チェック
END OF THE PIPES

地球規模

加害者・被害者
が不明確

法規制に限界

出来る人から自主的に
自主的取り組みが基本

▶ 地球環境問題(地球全体の問題)

【地域環境問題(公害問題)】

問題が局地的に発生し、発生源(加害者)と被害を受ける側が明確となります。発生源の出口を法律で規制をかけることが有効となります。

【地球環境問題】

問題が地球規模で発生し、加害者と被害者が不明確、あるいは同一となります。例えば、地球温暖化は、エネルギーである電気等を使用して二酸化炭素を出している人が加害者となります。しかし、温暖化の被害は排出者にも返ってきます。加害者が明確でないため、法規制をかけることにも限界があり、「環境保全への自主的な取り組み」が重要になってきます。

先進国の経済活動

酸性雨

石油等の化石燃料の燃焼から生じる酸性物質が雨に混じって降るもの。国境を越えて広範囲に汚染が広がる。

野生動物の減少

乱獲・環境破壊による生態系の危機。熱帯雨林の減少により今後25年間に4~8%の生物が絶滅するとの試算もある。

エネルギー大量消費

大規模な経済活動

オゾン層の破壊

人間が放出したフロンガスはオゾン層で強い紫外線をあびて塩素を出し、この塩素によって有害な紫外線を遮るオゾン層が破壊されている。



汚染物質の越境移動

廃棄物、有害化学物質が先進国から開発途上国へ違法に輸出される。

開発途上国の経済活動

急速な
経済成長

砂漠化
過度の開墾や耕作によって地力が衰える。影響を受けている土地は、地球の全陸地の4分の1に相当する。

人口の急増

海洋汚染
汚染物質の海洋への不法投棄による汚染。

貧困・対外債務